

行革と人材育成は再生の二本柱 少子化対策を充実せよ！

公明党目黒区議団 川原 のぶあき 議員

<行財政改革>

(1)民間委託や指定管理者制度導入による効果と課題認識について伺う。(2)足立区では、本年1月から窓口業務を本格的に民間委託したが、本区でも経費削減とサービス向上の観点から導入できないか、見解を伺う。

区長 (1)経費の縮減、専門性や創意工夫によるサービス内容の拡充等の成果があった。区民の安全とサービス水準の維持・向上の優先が課題である。(2)最小の経費で最大の効果を上げ、区民福祉の向上を図ることが自治体の責務であるため、他自治体の事例も参考に民間活力の活用に取り組む。

<人材育成>

(1)職員の意欲を持続させるためには、計画的な育成システムと適正な業績評価が必要と考えるが、見解を伺う。(2)係長昇任試験の受験率が低下しているが、人材確保の観点から筆記試験によらない昇任制度を導入できないか、見解を伺う。

住所等が 変わりました	川原 のぶあき議員(公明) 〒153-0051 上目黒5-26-6-301 電話番号の変更はありません	松田 哲也議員(無) 〒152-0022 目黒区柿の木坂2-13-18-B棟111 電話6421-1906(ファクス兼用)
------------------------	---	---

最近の委員会の主な議題 (平成26年1月～3月)

常任委員会

企画総務委員会

1月8日(水曜日)
目黒区による障害者就労施設等からの物品等の調達方針(案)
契約報告(4件)
東京都知事選挙執行計画(概要)

2月12日(水曜日)
臨時福祉給付金に関する当面の対応
平成25年度組織改正(追加)
東京工業大学との基本協定締結
平成26年度組織改正
平成26年度新年のつどいの実施結果
契約報告
目黒区登録業者の指名停止措置

2月27日(水曜日)
議案審査
JR宿舎跡地の活用に関する取り組み状況
平成26年度都区財政調整方針
平成25年度都区財政調整再調整方針
人権に関する意識調査の実施結果
平成26年度以降の再任用制度
目黒区人材育成・活用基本方針(案)
平成26年2月9日執行 東京都知事選挙結果

3月3日(月曜日)
議案審査

生活福祉委員会

1月8日(水曜日)
平成26年度めぐろ区民キャンパス構成施設の臨時休館
三団体の統合に関する当面の対応等
目黒区スポーツ表彰
区民プールの臨時休場
「地域主権改革」に伴う公書健康被害認定審査会条例の一部改正
区立田道高齢者在宅サービスセンター跡地の活用
目黒区による障害者就労施設等からの物品等の調達方針(案)

2月12日(水曜日)
平成26年度国民健康保険事業
平成26年第1回東京都後期高齢者医療広域連合議会定例会における議決結果等
臨時福祉給付金に関する当面の対応
平成26年度目黒区立緑ヶ丘小学校屋内プール他2プールの臨時休場日及び開場時間
平成25年度目黒区地域密着型サービス整備費補助事業の募集結果及び選定結果
平成26年度目黒区地域密着型サービス及び都市型軽費老人ホーム整備事業者の募集高齢者センターにおける入浴事故

2月27日(水曜日)
議案審査
平成26年第1回臨海部広域斎場組合議会定例会
目黒区消費生活センターにおける臨時消費者相談
友好都市・気仙沼市復興応援写真展～復興途中の気仙沼市を知ることの開催
気仙沼復興応援ツアー

目黒区スポーツ表彰
目黒区地区センター会議室・併設の老人いこいの家の臨時休館
自由が丘住区センターの休館日の変更
平成26年度における給食食材等の放射性物質検査(案)
目黒区在宅ケア多機能センター(仮称)の指定管理者の公募
自立支援センター目黒泉(仮称)開設

2月8日(水曜日)
陳情審査

都市環境委員会

1月8日(水曜日)
目黒区建築物不燃化促進助成条例改正の考え方
不燃化特区制度を活用した助成事業の考え方
工事報告「目黒銀座児童遊園改良工事(第二期)」及び「緑が丘駅前公衆便所改良工事」
「自由が丘南口地区地区計画」の区域内における建築物の制限に関する条例制定の考え方
園への「公営住宅等長寿命化計画」(案)の提出

2月12日(水曜日)
木密地域不燃化10年プロジェクト不燃化特区制度説明会(目黒本町5丁目地区)の結果
目黒駅周辺地区整備計画案
西小山街づくり整備計画案
自由が丘公園改良に向けた取り組み
東根公園改良に向けた取り組み
緑が丘駅前公衆便所改良工事による工事期間中の一時間閉鎖
目黒区生物多様性地域戦略案
目黒区地球温暖化対策推進実行計画(めぐろエコ・プラン)改定(案)
目黒区粗大中継所移設工事基本構想素案

2月27日(水曜日)
【視察：目黒区駒場三丁目区有通道、粗大中継所・リサイクルストックヤード、中町一丁目アパート】
議案審査
JR宿舎跡地の活用に関する取り組み状況
西小山駅前地区地区計画原案
目黒区公園施設長寿命化計画案

2月28日(金曜日)
目黒区公園施設長寿命化計画案
(仮称)区営碑文谷アパート新築工事実施設計(案)
平成26年度における放射性物質への対応(案)
目黒区地球温暖化対策地域推進計画改定案
目黒区環境学習実行プラン改定案
学芸大学駅東口指定喫煙所の試行設置

文教・子ども委員会

1月8日(水曜日)
平成26年度 区立幼稚園及びこども園の入園申込状況等
区立げっこはらこども園給食調理業務委託業者選定の結果
平成25年度目黒区立学校第三者評価の結果
「目黒区特別支援教育推進計画」改定の考え方
子ども総合計画改定に係るニーズ調査の概要
子ども総合計画改定に伴う子育て当事者や保育関係者の意見を反映していく取組み

次世代に引き継ぐ社会保障制度と一層の自殺防止対策を

自由民主党目黒区議団 田島 けんじ 議員

<消費税引上げによる区への影響>

(1)平成26年度予算案では、地方消費税交付金5億8,200万円余増であるが、財源確保につながる歳入の影響を伺う。(2)事業執行者としての歳出面の影響への対応と医療・介護・少子化事業への取組みについて伺う。

区長 (1)地方消費税引上げ分が区に入るのは平成26年12月以降になる。増額幅は税率引上げ幅と同様ではなく、大幅な財源確保とは言えない。(2)委託料、工事請負費等は5億6,000万円余増で、財政計画に織り込んである。地方消費税引上げ分7億1,000万円余は社会保障4経費に充て、特に待機児童対策に力を入れる。

<自殺防止対策>

(1)自殺防止対策の経緯と今後の取組み、自殺や精神疾患への偏見をなくす取組みについて伺う。(2)いち早く相談窓口につなげるゲートキーパー養成の取組みについて伺う。(3)遺族等は、偏見から精神的ダメージを受け経済的に苦しい状況に陥ることが多い。遺族等への対応について考えを伺う。

【用語解説】	※ゲートキーパー：悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人。
---------------	--

区長

(1)うつ病対策中心の取組みから、平成25年度には担当所管を定めて自殺対策を検討している。関係団体等と連携した対応の検討、誰もがり患する病気であることの周知等を行う。(2)来年度から区職員対象に研修を行い、区内事業者についても連携して進める。(3)できるだけ早い段階で寄り添い、心のケアとともに医療機関等につなげていく。

<自由が丘の街づくり支援>

自由が丘地区では、商店街、周辺住民、専門家からなる街づくり会社の景観づくりチャレンジが、高い評価を受けている。今後の取組みに行政としてどのように支援していくか伺う。

区長

自由が丘の街づくりは、駅前広場整備等のハード事業のほか地区計画策定などで課題に対応してきた。高い評価は、地元独自の街づくりの積み重ねに対するものである。今後も、地元の声を聴きながら可能な支援をしていく。

【用語解説】	※ゲートキーパー：悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人。
---------------	--

平成26年度予算案に対する討論(要旨)

●詳細は、目黒区議会会議録または区議会ホームページの会議録検索をご覧ください。

一般会計

消費税増税を容認し、区民には痛み押付け、開発には税金投入

日本共産党目黒区議団 森 美彦 議員

消費税増税を容認し影響緩和策を打たない上、増税分を学校給食や高齢者配食弁当代などに転嫁。急増する待機児への対策が遅い。介護改悪を容認し在宅支援へ国保料を値上げ。補助46号拡幅事業で6年急ピッチの住民追出しに追随。清掃工場建替えて焼却炉縮小を求めない。施設老朽化や震災対策に必要な技術職員不足、社会教育館「貸館」化、図書館開館時間縮小、学童保育の定員オーバー解決より職員削減と民営化で自治体の役割を後退。区民いじめ緊急財政対策の一方、基金積立てを最優先。特別養護老人ホームも認可保育園も用地不足なのにJR跡地や大橋図書館跡地を売却。新規施設造らず15パーセント削減という区民不在の区有施設見直し方針に固執。大橋再開発と天空庭園で大企業や首都高に税金投入で便宜を図っている。

災害時に対応できる体制強化で安心・安全のまちづくりを目指せ!

自由民主党目黒区議団 田島 けんじ 議員

平成26年度一般会計予算は、安心・安全の防災対策、子育て支援・教育の充実と医療・健康への取組み、環境を維持した地域づくり等、3つの重要課題への施策の確りに進めていくことを基本に編成されている。防災対策では、予測不可能な災害発生時に所管が速やかに連携し、的確に対応できる体制づくりを目指す必要がある。

全ての区有施設譲渡は目黒区崩壊! 20億を基金より待機児対策に使え!

無所属・目黒独歩の会 須藤 甚一郎 議員

まったく区民無視の平成26年度一般会計予算に反対する。予算編成全てが問題だ。まず基金、いわば区の預貯金の積み増しだ。すでに100億円余の基金があるのに、さらに20億円も積む。20億円あれば、待機児、特別養護老人ホームなどの問題は解決する。また、区有施設見直しは、40年間で施設15パーセントを削減する方針だが何の根拠もない。見直し手法の1つに「全ての区有施設を区で保有せず、

「支え合う社会」を目指し、温もりある誰もが住みやすい目黒に!

公明党目黒区議団 いいじま 和代 議員

平成26年度は「財政健全化に向けたアクションプログラム」の最終年度として改善の成果をあげつつ、区有施設の抜本的な見直しが本格化し、将来の超高齢社会に備えた新たな施策づくりの大切な時期だと受け止めている。さらに社会保障制度を持続可能にするための消費税引き上げ等、社会状況が大きく変化する中で、区民の皆様への負担を最小限にとどめる努力と行政サービスの在り方を見直し、

事務事業見直し最終年度。手綱を締めてさらなる行革を

秋元 かおる 議員

平成26年度目黒区一般会計予算に反対する。(1)JR跡地の売却について、当初とは異なる手法で評価した金額を予算計上することは妥当ではない。(2)外郭団体の補助金も、運営費が4千万程度で



佐藤 ゆたか副委員長 伊藤 よしあき委員長

賛成 区有財産活用は様々な角度で! 長いスパンの環境・エネルギー政策を刷新めぐろ 木村 洋子 議員

平成26年度目黒区一般会計予算に賛成する。社会保障制度の負担増や、制度と時代とが合わない面もある中、安心して暮らせる目黒にと、緊急財政立てなおしに着手し、そのプロジェクトも最終年度を迎える。実質公債費比率も、早期健全化基準の25パーセントを大きく下回り、昨年度より数値の改善が図られた。この間の取組みを評価する。

あの震災で失われた魂を、目黒区予算に込めて。

松田 哲也 議員

石巻市大川小学校、津波警報が鳴り響く中、子どもたちは「山さ逃げよう」と訴えた。支所職員は避難所適否など確認できて帰った。本来持ち合わせているはずの想像力はマニュアルで失われてい

賛成 全ての子どもをの育ちや子育ての環境を底上げせよ!

広吉 敦子 議員

予算に賛成する。子ども・子育て新制度を皮きりに、高齢化社会を支えるたくましい人間を育てる観点をもち、総合的な福祉の増進を図れ。待機児童対策はもちろんのこと、病児保育、一時預かり、地域子育て支援拠点も強化し、子育てのワンストップ化を目指せ。「サクラ基金」の目的を明確にし、区民に親しまれる基金とせよ。集中豪雨対策は、都と連携して抜本的対策を取れ。

平成26年度 各会計 予算のあらまし

各会計の予算額、一般会計予算の内訳の概要は、図表のとおりです。(図表の数値は、四捨五入をした関係で、合計額と一致しないことがあります。)

会計区分	26年度	25年度	増減率(%)
一般会計	903.4	832.1	8.6
特別会計	504.4	499.3	1.0
国民健康保険特別会計	266.0	266.7	△0.3
後期高齢者医療特別会計	59.6	56.7	5.1
介護保険特別会計	178.8	175.9	1.7
合計	1,407.9	1,331.3	5.7

詳しくは、「平成26年度目黒区各会計予算」をご覧ください。 △印は減

